

新型コロナと

わたしたち

- Aさん 小売店勤務の40代。コロナ禍中も営業
- Bさん 専業主婦の50代。元教育団体職員
- Cさん 求職中の20代。未就学児を育児中
- Dさん 在宅勤務の30代。子どもは保育園児
- Eさん 介護認定調査員の60代。電車通勤
- Fさん パートの40代。今春進学の子どもの有

Aさん 海外で発生したニューズヤクルズ船の話の頃は、まだ緊張感がなかったですね。

Bさん 1月下旬、看護師の友人から「コロナ感染予防対策で同窓会を中止しよう」とSNSで連絡があり、驚きました。

Eさん 不安な中で何かにすがりたい思いが皆さんあったと思います。私は、友人からの偽情報に惑わされました。

Cさん 一斉休校の話で、すごい事態だと実感し一気に意識が変わりました。

Fさん いきなりの休校宣言、終業式。子どもたちが可哀そうでした。

Aさん 4月上旬、自宅の引越しがあり大変でした。窓口の人数が減った関係で、役所やライフラインの手続きに通常より時間がかかりました。

仕事面や育児面

Dさん 在宅勤務とはいえ、子どもを見ながら仕事をするのは難しく、子どもが寝ている間に仕事をしています。運動不足も気にな



るので、日中は外に連れ出して遊ばせたりしていましたね。ただ、夫も在宅勤務でしたので、2人で交代しながら面倒を見られたのは助かりました。それができない方は大変だったのではないのでしょうか。

Aさん 店では、育児中の方が優先的に休めるようにしたので、急遽、勤務シフトを調整しなければなりませんでした。

店内で「十分に在庫がある」とアナウンスをしましたが、不安感からか、マスクやアルコール消費類以外の感染予防対策とあまり関係のないもので、店頭から無くなり、品薄が続きました。

とにかかく、忙しかったです。

店でのクラスター対策が最優先事項で、これは、しばらく続くと思います。家族の感染予防にも気を遣いましたね。



Eさん コロナ禍中も通勤時間帯を避けて移動をしながら、介護認定の個別訪問調査を続けました。高齢者宅を訪ねると、スパーの宅配が休止になり、「新型コロナのせいで、自由に買い物ができなくなった」と、買い物が大変そうでした。

「ヘルパーさんが来てくれるか心配」という声もありました。健康体操など参加していたイベントがなくなり、2ヶ月の間、一歩も外に出ていない高齢者もいました。

外出すると感染のリスクはありますが、外出しないのも足腰が弱る「フレイル状態」になる心配を感じました。

Cさん 子どもの通院で通う医院は、受診控えなのか、空いていました。また、「産院は、立ち合い出産や家族の見舞いができなくなった」と友人から聞きました。

Bさん 父親にとつて、子育ての入口に立つのが難しくなっていましたね。

Fさん 子どもたちが卒業式の準備をすでにしていたので、式が縮小されたのが、残念でした。



自粛中ゴールデンウィーク対応

Aさん 店では、「プチ贅沢」傾向があり普段より高いものが売れました。

Fさん ゴルデンウィークに、いつもは使わないホットプレートを出して、「フチイベント」を子どものために企画しました。

Bさん 柳瀬川も人がたくさんいて、金山緑地公園の駐車場も閉鎖されました。制限が徐々に多くなり、息苦しさを感じました。

Dさん 私は、ゴールデンウィークでやっとホッとできたという印象です。育児の合間を見つけては土日仕事を進める状況で、休みもなく大変だったので、「仕事をしない」と決めた期間ができて助かりました。

これからについて

Aさん ウイズコロナを踏まえた毎日ですね。オンライン化が進んで、レッスンを遠隔操作で受けられるようになったり、コンサートが生ライブ配信で楽しめる

たり、仕事だけでなく、カルチャー分野などでも新しい側面があると思います。
Bさん 私の子どもは、障害を持っています。環境の変化に弱く、精神的に不安定になってしまったため、本人や私が新型コロナウイルスに感染したら、どうやって入院生活を送るのか、という心配はいまだにあります。

Cさん 自然環境からの警鐘との声もあります。新型コロナウイルスの影響で、手作りマスクが浸透したり、「ものを大切にすること」など気が付かせてもらったことも多いと思います。

Dさん テレワークが広がり、ありがたいです。出席できるセミナーも増えまして。これまで「子どもがいるから遠くまで働きにいけない」という方もいましたが、在宅勤務メインで採用しようという会社も増えてきているようですね。

Eさん 最初は情報がなく、意味のない不安もありました。新型コロナウイルスがどういうものか、知識を得ることで不安が減りました。これからは映画鑑賞や美術館に行こうと思つていきます。予防をしながら、ゆとりのある楽しみを持ちたいです。

Fさん 6月入り学校も再開され、一時的ですが安心が増えました。メディアの伝え方は、新規感染者を前に出して伝えることが多いと思います。回復した人数をもっと伝えてほしいです。情報を受け側の気持ちも違つて思います。



(6月中旬実施 まとめ栗山)